

令和元年8月27日  
中村河川国道事務所  
高知県  
四万十市  
黒潮町

『一般国道56号 おおがたしまんと 大方四万十道路』  
測量・調査に向け、事業化後初の説明会を開催！  
～「四国8の字ネットワーク」の延伸に向けて～

おおがたしまんと  
大方四万十道路は、平成31年度に新規事業化され、このたび、事業化後、初めてとなる説明会を令和元年9月24日から30日に開催し、関係者の方々に、設計に必要な測量・調査等の説明を行います。

※開催日時及び場所については、別紙を参照下さい。

大方四万十道路とは

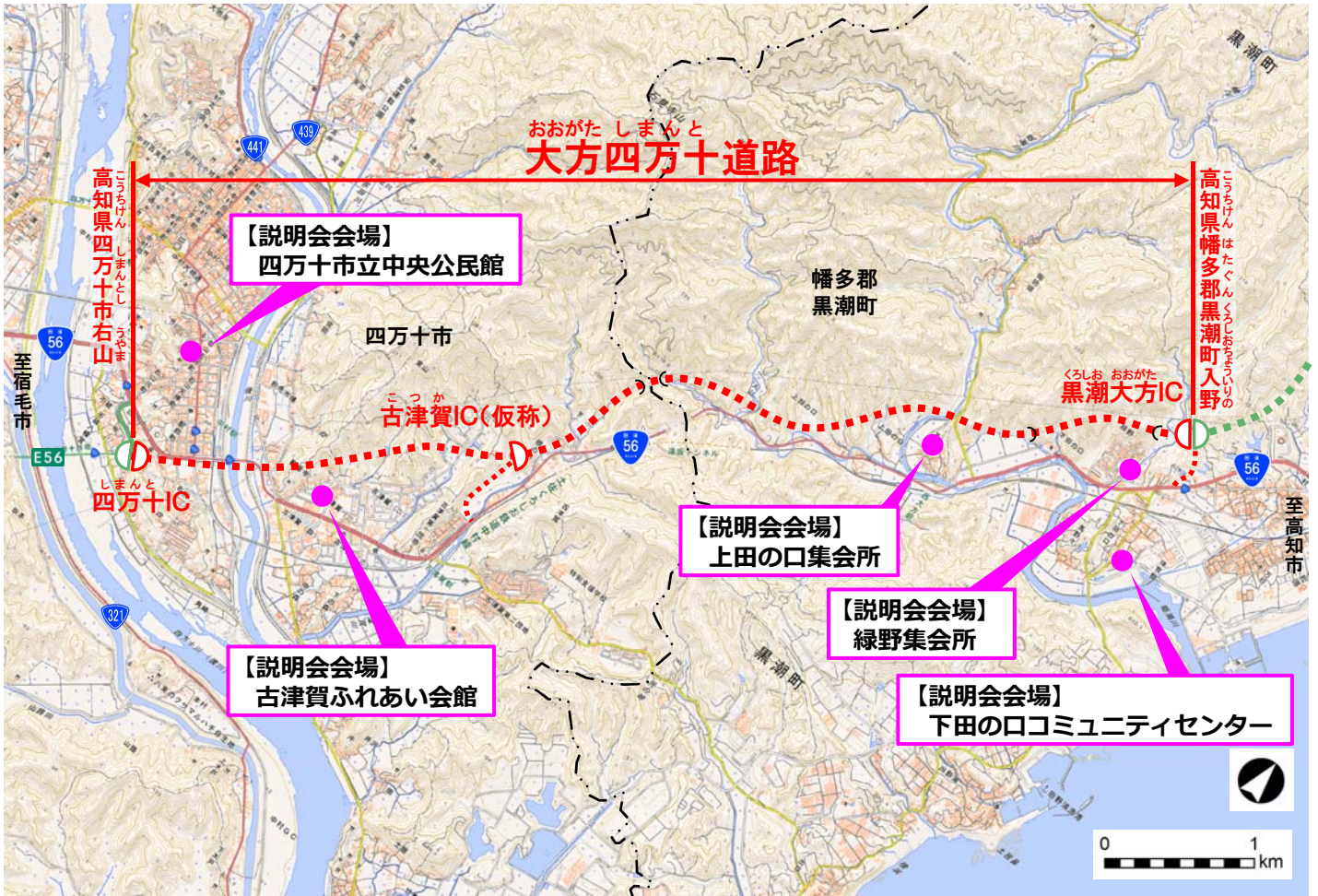
■四国の高速道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」の一部を構成する、黒潮町くろしおちょう入野いりの(黒潮大方IC)から四万十市しまんとし右山うやま(四万十IC)間の延長7.9kmの自動車専用道路です。

※ 本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」及び「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた『資国』産業競争力強化プロジェクト」等の取組に該当します。

お問い合わせ先(○:主な問い合わせ先)

- ・国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所  
副所長 平口 正雄(へいぐち まさお) 電話0880-34-7301(代表)(内線205)  
○調査課長 矢野 裕紀(やの ひろき) 電話0880-34-7307(調査課)(内線451)
- ・高知県 道路課  
チーフ 野中 隆一(のなか りゅういち) 電話088-823-9834
- ・四万十市 まちづくり課  
課長 桑原 晶彦(くわばら あきひこ) 電話0880-34-6127
- ・黒潮町 まちづくり課  
課長 金子 伸 (かねこ しん) 電話0880-43-2115

おおがたしまんと  
大方四万十道路 測量・調査立入説明会 各地区・会場位置図



※国土地理院地図より作成

地区名	日時	場所	住所
くろしおちょう しまたのくち 黒潮町下田の口	令和元年9月24日(火) 19:00～	しまたのくち 下田の口コミュニティセンター	はたぐん くろしおちょう しまたのくち 幡多郡黒潮町下田の口ラキヤシキ72
くろしおちょうみどりの 黒潮町緑野	令和元年9月25日(水) 19:00～	みどりのしゅうかいしよ 緑野集会所	はたぐん くろしおちょう しまたのくち 幡多郡黒潮町下田の口822-142
しまんとし うやま ふば 四万十市右山・不破	令和元年9月26日(木) 19:00～	しまんとしりつ ちゅうおうこうみんかん 四万十市立中央公民館	しまんとし うやま さつきちよう 四万十市右山五月町8番22号
くろしおちょう かみたのくち 黒潮町上田の口	令和元年9月27日(金) 19:00～	かみたのくち しゅうかいしよ 上田の口集会所	はたぐん くろしおちょう かみたのくち 幡多郡黒潮町上田の口モリヤシキ67
しまんとし こつか 四万十市古津賀	令和元年9月30日(月) 19:00～	こつか かいかん 古津賀ふれあい会館	しまんとし こつか 四万十市古津賀1丁目37

# 一般国道56号 おおがたしまんと 大方四万十道路

## ● 事業の進め方

①事業化

今回の地元説明会

②地元説明(測量・調査立入説明会)

事業計画を説明し、  
測量等に伴う立ち入りをお願いします。

③測量・調査

基準点の設置、中心杭打設、縦断及び横断測量、地形図作成等の測量や地質調査等を実施します。

④設計案作成

現地の地形状況などを反映して、設計案を作成します。

⑤設計協議

道路構造を説明するとともに、水路、付替道路等の構造について協議します。

⑥用地幅杭打設

道路の建設に必要な幅を示す杭を現地に打設します。

⑦境界立会

民々境界、官民境界を現地にて立会します。

⑧用地測量調査

用地測量、建物、工作物、立木、その他補償対象物件の調査をします。

⑨用地補償説明

用地測量調査に基づき土地価格、建物等の補償について説明します。

⑩用地契約

土地、建物等の売買契約をします。

⑪工 事

用地にご協力いただいた箇所から工事に着手します。

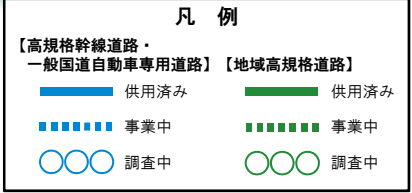
⑫開 通

# 一般国道56号 大方四万十道路

## ● 計画の概要

事業名	一般国道56号大方四万十道路
区間	こうちけん はたぐん くるしおちよう いりの 高知県幡多郡黒潮町入野 こうちけん しまんとし うやま ～高知県四万十市右山
延長	7.9km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線(自動車専用道路)
標準幅員	12.0m

【四国8の字ネットワーク】



## ● 事業の経緯等

平成29年1月27日：都市計画決定

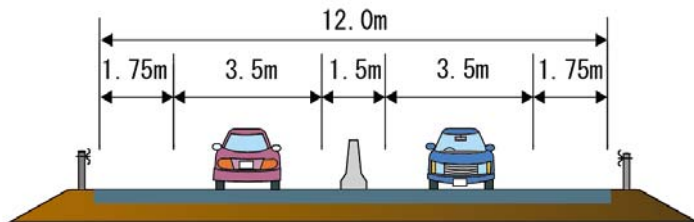
平成31年度：事業着手

## 大方四万十道路拡大図



※国土地理院地図より作成

## ● 標準断面図



# 一般国道56号 大方四万十道路

## 整備効果① 防災機能の強化と災害に強いまちづくりを支援

- ▶ 南海トラフ地震等の災害時に、津波浸水しない高さを確保した大方四万十道路により、円滑な救援活動・物資輸送に寄与します。

**津波浸水予測区間の延長**  
【現況】4.1 km → 【整備後】0.0 km

- ▶ 避難道路整備や高台に移転した黒潮町新庁舎、防災拠点などと連携して防災を踏まえた黒潮町の街づくりに寄与します。
- ▶ 防災拠点集約や防災機能を備えた中心市街地の再開発、既存商業施設を活用した地域・産業活性化など、四万十市の街づくり構想を支援します。

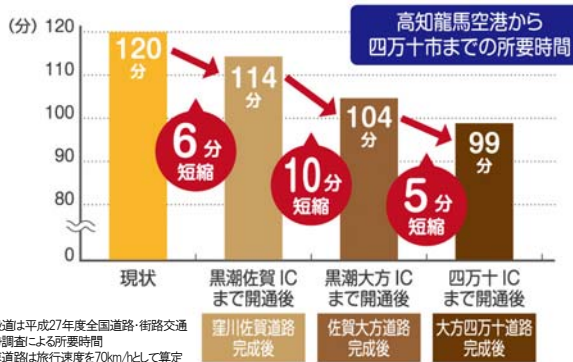


凡例	大方四万十道路	一般国道(補助国道)	津波浸水予測域
	津波浸水予測区間(R56)	県道	市街地・集落
	一般国道(直轄国道)	防災拠点施設	標高100m以上エリア

津波浸水予測域の出典…【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について (高知県 危機管理課 南海トラフ地震対策課 H24.12.10公表)

## 整備効果② 周遊観光・地域産業促進による高知県西部の活性化

- ▶ 高知市周辺や高知龍馬空港から、幡多地域の観光地等への移動時間を短縮し、定時性を確保することで、地域経済活動の活性化が期待されます。



※一般道は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査による所要時間  
高速道路は旅行速度を70km/hとして算定



## 整備効果③ 安全安心な高次医療施設へのアクセス

- ▶ 大方四万十道路の整備により、高次医療施設への60分圏域が拡大し、高幡地域南部へのカバー率が増加します。

**高幡地域南部の高次医療施設への60分圏域人口**  
【現況】約1.4万人 → 【整備後】約1.6万人

- ▶ 高幡地域南部から高次医療施設への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減します。

**国道56号(佐賀~四万十)のR<150mカーブ区間**  
【現況】36箇所(国道56号)  
→【整備後】0箇所(佐賀大方道路・大方四万十道路)

